

令和2年度 入学者選抜試験問題

国 語

実施日時：令和2年1月23日（木） 9:00～9:50

*下記の〈注意事項〉をよく読み、監督者の指示を待ちなさい。

〈注意事項〉

— 開始前 —

1. 監督者の〈開始〉の指示があるまで、この問題冊子の中を開けない。
2. 解答用紙には、解答欄のほかに下記の2つの記入欄がある。その説明と解答用紙の「注意事項」を読み、2項目の全てに記入またはマークする。
 - ・受験番号欄 上段に受験番号を記入し、下欄にマークする。
 - ・氏名欄 氏名・フリガナを記入する。
3. 解答用紙に汚れがある場合には、挙手で監督者に知らせる。
4. この表紙の受験番号欄に受験番号を記入する。

— 開始後 —

1. 問題は2ページから20ページまでの各ページに印刷されており、第1問～第2問の2題で構成されている。
開始後確認してページの落丁、乱丁、印刷不鮮明等がある場合は、挙手で監督者に知らせる。
2. 解答は全て解答用紙の所定の欄へのマークによって行う。たとえば、

3

と表示のある問いに対して2と解答する場合は、次の〈例〉のように解答番号3の解答欄②をマークする。

〈例〉

解答 番号	解 答 欄									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
3	①	●	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

3. マークする際はHBの鉛筆でマーク欄を適切にマークすること。
4. 質問等がある場合は、挙手で監督者に知らせる。
5. 試験開始後の途中退出はできない。

受験番号

--	--	--	--	--	--

(問題は次のページから始まる)

第1問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

アメリカの環境倫理学の基本的な論争点は「人間中心主義」をとるか、「人間非中心主義」をとるかという点にあります。「人間中心主義」とは、基本的には「人間は自然界で特別に重要な存在であり、他の生き物はもっぱら人間に⁽⁷⁾ホウシするために存在している」という考え方をさします。そこから人間による無制限の自然の開発・利用という結論が生まれます。これが現代の環境危機の根源にあるとして、この発想を乗りこえようとする立場が全般的に「人間非中心主義」と呼ばれます。「人間非中心主義」の立場にたつ人々は、「全体としての自然や、個々の生き物を、人間にとって役立つかどうかという観点(自然を「道具的価値」と見る)を離れて、それ自体に価値がある(「内在的価値」がある)ものと考える」と主張しました。この二つの対立が「人間中心主義」対「人間非中心主義」の図式として語られ、環境倫理学では、「人間中心主義」から「人間非中心主義」へと倫理を根本的に変革することを求めてきたのです。

このような「人間中心主義」対「人間非中心主義」の論争の背景には、歴史家のリン・ホワイトの論文「現代の生態学的危機の歴史的根源」があります。彼は「現代の環境危機の根源は、人間を特別視するキリスト教の伝統にある」として、それに代わる世界観と新しい倫理を求めたのです。それに対して、パスモアは、キリスト教の伝統のなかには「神の⁽⁴⁾シンタク管理思想」があり、環境危機の思想的原因とはいえないと反論しました。パスモアによれば「人間は神から自然の管理を任された「管理人」執事」であり、正しい管理をする責任があるが、現在の環境危機は管理の責任を果たしていないために起こった」ということになります。《1》

環境倫理学では、このパスモアのような、従来の倫理や世界観を維持するという主張も「人間中心主義」と呼ばれています。これは最初に見た、人間の利益を優先する素朴な「人間中心主義」とはやや異なるものですが、近年では、パスモアのいう意味で用いられることも多いのです。こうなると、「人間中心主義」と「人間非中心主義」の論争の力点も変わってきます。(a)、論争点は、従来の倫理の改良か、根本的な倫理の変革か、という点になります。

ただ、いずれにせよ「人間非中心主義」が根本的な倫理の変革を求めていることに変わりはありません。では、それはどのような変革なのでしょう。環境倫理学者のフォックスは、「開発か保全かが争われている場面で、自然を「道具的価値」と見るならば、保全

を主張する側が「なぜ保全するのか」を説明しなければならぬが、自然を「内在的価値」と見るならば、開発を主張する側が「なぜ開発するのか」を説明しなければならぬことになる」と主張しています。つまり彼は、行為の「(甲)」をどちらが負うのか」という問題を明示するために、「人間中心主義」自然の道徳的価値」と、「人間非中心主義」自然の内在的価値」の対立図式を用いているのです。このフォックスのまとめは、「倫理の根本的な変革」の中身を具体的に示したものであるでしょう。《2》

すでに見たように、人間中心主義と人間非中心主義との論争には、「自然の価値」をどう捉えるかという論点が重ね合わされています。つまり、人間中心主義者は、自然の価値を、人間の利害関心によって付与された価値(道徳的価値)と捉える傾向があり、人間非中心主義者は、自然にはそれ自体の価値(内在的価値)が備わっていると主張する傾向があります。

自然の価値を道徳的なものとする立場と内在的なものとする立場との違いは、自然を「保全」する立場と「保存」する立場との違いにつながっていきます。環境倫理学では、「保全」とは「人間のために自然を守る」という考え方でされ「保存」とは「自然のために自然を守る」という考え方であるとされます。この二つの立場の違いを示す例としてよく引用されるのが、ヘッチ・ヘッチー溪谷のダム建設をめぐる、ピンショールとミューアの論争です。ピンショールがカリフォルニアの市民のための水供給を優先し、人間の利用のために自然を適切に管理すること(保全)を主張したのに対して、ミューアは、X(保存)を優先するよう主張しました。結局、このときはピンショールの保全の立場が採用され、ダムが建設されたのですが、そのこともあって、その後の環境倫理学では、一般に、「保存」の論理を構築することに力が注がれるようになり、「保全」は前時代的な考え方とされるようになりました。《3》

先に、「人間中心主義」に二つの解釈があることを説明しましたが、「人間非中心主義」のなかにも、異なる二つの考え方があります。一つは、個々の生き物の⁽⁴⁾フクシや権利に焦点を当てる「個体主義」または「生命中心主義」であり、もう一つは、自然や生態系のシステム全体を維持することを主眼とする「全体論」または「生態系中心主義」です。

そのうちの「生態系中心主義」の強力な支持者は、アメリカの代表的な環境倫理学者であるキャリコットです。彼は環境倫理学の始まりを、レオポルドの「土地倫理」においています。狩猟鳥獣管理・森林管理の⁽⁵⁾ジツム家だったレオポルドは、一九四九年に、当時の科学的生態学の知見と自らの経験をふまえて、人間と土地との関係を律する倫理の必要性を語ったのです。彼によれば、「土地倫理」とは、要するに共同体という概念の限界を、⁽⁶⁾ドジョウ、水、植物、動物、あるいは集合的に土地へと拡張する「ものだといえます。

こうして拡大された共同体のなかで、人間は特別な存在ではないとされます。「要するに、土地倫理は、ヒトという種の役割を、土地共同体の征服者から、単なる一構成員、一市民へと変えるのである」。そして最後に次のような規範が提示されます。「あるものは、それが生物共同体の統合、安定、美を保つ傾向にあるならば、正しい。反対の傾向にあれば、間違っている」。

この論文は長らく埋もれていましたが、一九七〇年代に再発見され、環境倫理学の基本文献となりました。キャリコットは、レオポルドが個々の生物ではなく、集合的な「土地」や「生物共同体」に焦点を当てたことを評価し、それを進化論や生態学の知見を用いて基礎づけることによって「全体論的環境倫理学」を構築しようとしています。

一方、「個体主義」または「生命中心主義」の代表的な議論は、シンガーによって提起された「動物解放論」です。彼の議論の背景には、快楽の最大化と苦痛の最小化を目指す「功利主義」の立場があります。彼はそこから、倫理の基準を「苦痛を感じる能力」におき、苦痛を感じる能力のある動物の利益は人間と同様に考慮されるべきであるとして、動物実験と工場畜産への反対を表明しました。その際に、彼は「苦痛を感じる能力」という基準を生命倫理学の問題にも適用し、そこで苦痛を感じる能力のない重度の障害新生児の生存権を否定する見解を示したことによって、厳しい批判を受けました。

その後、動物に対して倫理的配慮を求める流れは、功利主義ではなく、権利に基礎をおく「動物の権利運動」として展開されていきました。代表的な論者にレーガンがいます。彼は、苦痛を感じる能力があるかないかではなく、「生命の主体」と見なされる動物には「固有の価値」があるという立場から、「動物の権利」を唱えました。そして彼は、レオポルドやキャリコットの全体論は、全体を守るために個々の動物の権利をなおざりにするものであるとして、それを「環境ファシズム」と呼んで批判しました。

この二つの立場の違いは、守るべき対象を「個体」とするか「全体」とするかにあります。それは環境保全の現場で異なる結論を導くものです。たとえば、生態系にとって重要な稀少種を守るために「有害」動物を何匹も殺すことは、「生態系中心主義者」にとつては仕方ないことですが、^A「生命中心主義者」の眼には許しがたい行為に映るでしょう。また、個々のシカを保護することを求める「生命中心主義者」に対して、「生態系中心主義者」は、シカの過剰繁殖による生息地の破壊や、生態系のバランスの崩れなどの理由で反対するでしょう。このように、二つの立場の違いがきわめて大きいことから、キャリコットは、環境倫理学の争点を、「人間中心主義」対「人間非中心主義」ではなく、「人間中心主義」対「生命中心主義」対「生態系中心主義」の三極対立構造と見なしています。

「動物の権利」に似ていますが、やや異なる議論に「自然の権利」論があります。環境史家のナッシュは、欧米の「権利の拡張」の歴史の延長線上に位置づけることで、自然の権利の正当化を試みています。つまり彼はイギリス貴族の権利（マグナ・カルタ）、アメリカ入植者の権利（独立宣言）、奴隷解放、女性の権利、アメリカ先住民の市民権、労働者の権利、黒人の公民権の次に来るものとして「自然の権利」を位置づけているのです。「自然の権利」なんて信用できないという人も多いかもかもしれませんが、奴隷や先住民の権利も、当初は（乙）にさいなまれていたものだ、と彼は言います。

また、法哲学者のストーンは、自然保護のための一種の戦略論として、自然物を原告として法廷に立たせる（人間がその後見人となる）ことの可能性を論じて話題を呼びました。川辺の住民は、川を汚染されない権利を持ち、原告となつて水質汚染訴訟を起こすことができますが（原告適格がある）、そこで、損害賠償を勝ち取つたとしても、川そのものが被つた損害を償うために、川そのものにお金が支払われることはありません。他方で、川そのものを開発から守ろうとする自然保護団体は、開発によって直接に損害を被るわけではないという理由で、訴訟を起こす資格がない（原告適格がない）と見なされます。（b）ストーンは、「法人」が権利をもつような形で自然物も権利をもつと主張して、実際には自然保護団体が後見人として訴訟を起こすという考え方を示しました。この考え方は、法理論上確立されたとはいいいがたいのですが、自然保護の現場では、問題提起の意味も含めて積極的に用いられています。《4》

^Bこれらの「自然の権利」論は、動物解放論や動物の権利運動とは異なります。というのは、シンガーやレーガンがあくまでも「個体」の保護を考えているのに対し、ナッシュやストーンは「個体」と「全体」の両方を射程に入れているからです。特にストーンは、道徳の基準は案件ごとにその都度変わると主張して、単一の道徳原理を確立させようとするキャリコットから批判を受けました。それが次に紹介する論争点です。

最後の論争点は、環境倫理学のなかで、複数の価値や原理を提示することを積極的に認めるのか（道徳的多元論）、それとも環境倫理学は一つの原理に従つて構成されるべきなのか（道徳的一元論）、という点です。ストーンが、「道徳的な配慮の対象が多種多様になつているので、単一の原理をそれらに適用するのは不可能であり、違った対象には違った原理を適用すべきだ」として「道徳的多元論」を主張したのに対して、キャリコットは、「統一された道徳的世界観」をもたないかぎり、複数の原理が矛盾した指令を出したときに、多元論者はどれを選べばよいのかの判断ができなくなるという批判を行っています。これは純粹に理論上の論争のように見えるかもし

れません。多元論をとるか一元論をとるかという選択が、具体的な環境問題を考えるにあたって、どのような違いを生み出すのかが、つかみにくいように思われます。(c)、この論争点こそが、環境運動や環境政策に影響を与えうる議論を求める「環境プラグマテイズム」の論者たちが最もこだわった点なのです。そして彼らはキャリコットが批判した多元論を、自分たちの主張の中心にすえていきました。《5》

*本文は、出典の記述を一部省略している。
(出典 吉永明弘『都市の環境倫理』より)

問一 傍線部(ア)～(オ)のカタカナの部分に漢字に直す場合、最も適当なものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選べ。

解答番号は(ア) 、(イ) 、(ウ) 、(エ) 、(オ)

(ア)	ド ジ ヨ ウ	①	壤	②	状	③	場	④	讓	⑤	穰
(イ)	シ ン タ ク	①	摺	②	度	③	託	④	拓	⑤	托
(ウ)	フ ク シ	①	史	②	祉	③	資	④	斯	⑤	詞
(エ)	ジ ツ ム	①	霧	②	夢	③	牟	④	務	⑤	無
(オ)	ホ ウ シ	①	邦	②	報	③	方	④	奉	⑤	法

問二 本文中の(a)～(c)に入る語として最も適当なものを、次の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選べ。ただし、同じものを二度以上用いてはならない。解答番号は(a) 、(b) 、(c)

- ① しかし ② そこで ③ たとえば ④ つまり ⑤ なぜなら

問三 空欄（甲）、（乙）を補うのに最も適当なものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選べ。解答番号は（甲）

9、（乙）

10

（甲）

- ① 倫理的根拠 ② 根本的変革 ③ 内在価値 ④ 道具的価値 ⑤ 立証責任

（乙）

- ① 不信感 ② 正義感 ③ 違和感 ④ 公正感 ⑤ 正当化

問四 空欄 X に入るものとして最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は 11

- ① 人間の利用を適切に管理して、人間にとって利便性の高い環境を実現すること
② 自然にはそれ自体に価値はないが、自然のために自然をそのまま残すこと
③ 人間が利用するために自然を守るという観点から、自然を適切に管理すること
④ 自然の管理をする際に、開発により不利益を得る市民の同意をとること
⑤ 人間の生活の事情よりも、渓谷の自然をそのまま残すこと

問五 次の一文は、本文中の《1》～《5》のどこに入れるのが最も適当か。次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は 12

この考え方からすれば、環境問題は、従来の世界観や倫理を維持し、それにきちんと従うことによって対応できることになり
ます。

- ① 《1》 ② 《2》 ③ 《3》 ④ 《4》 ⑤ 《5》

問六 傍線部A「生命中心主義者」の眼には許しがたい行為に映るでしょう」とあるが、その理由の説明として最も適当なものを、

次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は 13

- ① どのような動物を有害か、無害かを決めるのは人間の都合によるものであり、生命それ自体の価値とは無関係だから。
② 人間の都合でシカを保護すると、過剰繁殖による生息地の破壊や生態系のバランスの崩れをもたらすから。
③ 生命の主体とみなされる動物にはそれ固有の価値があるという考えは環境ファシズムにつながるから。
④ 生態系にとって有害な動物を何匹も殺すことは生態系のバランスを維持するためには仕方のないことだから。
⑤ 生命の主体である個々の動物はそれ自体価値があるので、生態系を守るためであってもそれを殺すことは許されないから。

問七 傍線部B「これらの「自然の権利」論は、動物解放論や動物の権利運動とは異なります」とあるが、この説明として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は 14

- ① 自然の権利論が個体の保護を考えているのに対して、動物解放論や動物の権利運動が個体と全体の両方の保護を考えていること。
- ② 自然の権利論が個体と全体両方の自然物の権利を求めているのに対し、動物解放論や動物の権利運動は個体の生存権のみを求めていること。
- ③ 自然の権利論が功利主義を基盤に苦痛を感じる能力の有無によって保護の義務を考えているのに対し、動物解放論や動物の権利運動が生命固有の価値を主張すること。
- ④ 道徳の基準は案件ごとにその都度変わるとストーンが主張するのに対し、キャリコツトは単一の道徳原理を確立しようとしていること。
- ⑤ 道徳的多元論にせよ道徳的一元論にせよ、複数の原理が矛盾した場合にはどれを選べばよいか分からなくなってしまうこと。

問八 本文の内容と合致するものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は

15

- ① リン・ホワイトは人間中心主義の立場に立ち、現代の環境危機の背景には、人間を特別視するキリスト教の伝統があるとして、それに代わる新しい倫理を求めた。
- ② 自然の価値を道具的なものとする立場は自然を保存する立場につながり、自然の価値を内在的なものとする立場は自然を保全する立場につながる。
- ③ シンガールの動物解放論では動物の権利は苦痛を感じる能力の有無ではなく、生命の主体であること自体がもつ固有の価値に由来する。
- ④ 法哲学者のストーンは複数の価値や原理を提示することを積極的に認め、そうした原理は案件ごとにその都度変わるとする道徳的多元論を主張した。
- ⑤ 道徳的多元論をとるか道徳的一元論をとるかは純粋に理論上の問題であると考えられていたが、具体的な環境問題を考えるなかでこの選択が重要であることが明らかになった。

第2問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

コンビニエンスストア、大型新古書店をはじめ、多くの店で採用されている「やまびこ挨拶」というものがある。客が入ってくると、その姿を認めた店員が「いらっしやいませ」と叫ぶ。すると、その声を聞いたほかの店員たちが次々とこだまのように「いらっしやいませ」と続ける。同様に、レジをすませた客、または何も買わなかった客が出口に向かうと、その背中に「ありがとうございます」がこだまする。おおかたの店員は客のほうに顔を上げるでもなく、体の向きを変えるでもない。商品の在庫を確認しながら、棚の本やCDを並べ替えながら、伝票の整理をしながら、あるいはほかの客の対応をしながら、ただ叫ぶ。

銀行でも、案内係の行員が判で押したように「いらっしやいませ」「ありがとうございます」と声をはりあげる。金融機関には不釣り合いなほどの威勢のよさだ。元気がよすぎて、「いらっしやあっせえっ」「ありがとうございます」としか聞こえないこともある。私はかねてから、この「やまびこ挨拶」が気になっていた。この「気になる」は婉曲表現で、X。とはいえ、何を快いとし、何を不快とするかには個人差がある。私が快いと感じるものを不快に思う人もいるだろうし、その逆もあるだろう。「やまびこ挨拶」はある程度の規模の客商売であれば、小売店だけでなく、飲食店、美容院、銀行と、業種を越えて取り入れられている。利用客に受け入れられているということなのだろう。「元気がよくて気持ちがいい」「客へのサービス精神に満ちている」と、好評なのだろう。そう思っていた。

(a)、大学生との話のなかで、外国人学習者に教えるべきか否か悩まされる「変な日本語」に話題が及んだとき、彼らが挙げたもののなかにこの「やまびこ挨拶」があった。ほかには、「ら抜き言葉」「全然＋肯定形」「半疑問イントネーション」「くじやないですか」「く系」「く的」などが挙げられた。日ごろこれらの表現を使いつつも、外国人の日本語学習者に胸を張って教えることのできる言い回しではないと感じているのだ。

「やまびこ挨拶」の評判はかんばしくなかった。「意識したことがない」「気にならない」は少数意見で、ほかは、「心がこもっていない」「反射的に叫んでいるだけ」「パーソナルな対応ではなく、適当にこなしている感じ」と、手厳しい。「何も買わないで帰るときにあちこちから『ありがとうございます』と叫ばれると、『買わずに帰る俺への嫌みか』と言いたくなる」という声もあった。

もし、学生たちや私と同じような印象を抱く客が少ないとしたら、つまり、利用客がこの挨拶に満足していなかったとしたら、「やまびこ挨拶」をサービスの「イツカン」⁷⁾として実施している店は見込み違いをしていることになる。次回何かを買うかもしれない潜在的顧客や、たまたま目当ての商品が見つからなかった常連客の背中に「ありがとうございます」のこだまを浴びせかけるのは、^Aむしろ逆効果ということだ。

客に当惑を抱かせたり不快感を味あわせたりするのは、店側の本意ではないはずだ。そして、商売人であれば、提供する商品とサービスを充実させること、従業員のやる気を出させ質を向上させること、経営の無駄を省いて価格に反映させること、客心理を研究して顧客の満足度を高めることなどが売り上げ増に直結することを熟知しているに違いない。したがって、店の方針として「やまびこ」を採用するのは、そろばん勘定のうえの戦略である。とすると、必ずしも客に好印象を与えないこの挨拶は、もとより来店客を歓迎した^Bり気持ちよく送り出したりするためのものではないということになる。つまり、「やまびこ挨拶」は客のためではなく、Yという推論が成り立つ。

人間の行うコミュニケーションに意味のないものはない。挨拶一つとっても、全員で一斉に声をそろえて叫ぶのも、お客さんに向かってにっこり微笑むのも、深々とお辞儀をするのも、または挨拶をしないで無視するのも、すべて意味のある行為だ。送り手と受け手がそこに同じ意味を見いだしているとは限らないが、そこに意味が発生することに変わりはない。

店員たちが、あの元気のよい挨拶を客に対してでなく自分たちのために発していると考えると、「やまびこ挨拶」の意義が見えてくる。全員がそれぞれ大声を出すことで、緊張感の持続と連帯感の確認が図られる。士気を鼓舞し、仕事のモチベーションを高めるとい^Cう効果も期待できる。しかも、表向きは客への礼儀に適^{かな}つたものとなつていてから一石二鳥だ。

(スーパーマーケットなどのレジ担当者が言う)「いらっしやいませ、こんにちは」

(年賀状の交換が唯一の安否確認手段となつた旧友宛に添える)「今年こそ絶対に会いましょう」

(電車内で)「優先席付近では携帯電話の電源をお切りください。それ以外ではマナーモードに設定のうえ、通話はご遠慮ください。お客様のご理解とご協力をお願いいたします」

(転居通知の葉書に記す)「お近くにお越しの節は、ぜひお立ち寄りください」

(タバコのパッケージに印刷されている)「あなたの健康を損なうおそれがありますので吸いすぎに注意しましょう」

これらと「やまびこ挨拶」には共通点がある。コミュニケーションの目的がメッセージ内容を④ジギどおりに伝達することではないという点だ。真の目的は、メッセージを発したという事実を相手に知らしめることにある。したがって、メッセージの受け手が送り手の意向に添った行動をとるかどうかは、ほとんど問題にされていない。場合によっては、受け手にメッセージの内容に即した行動をとられては困ることもある。

^B店員の発する「いらっしやいませ、こんにちは」を客は無視し、返事をしない。携帯電話の使用を禁止するアナウンスが流れても、優先席に座ってメールやゲームや調べもの続ける乗客はあとをたたない。年賀状や引越しの知らせにつけ加えるひとは社交辞令であり、受け取った側は真に受ける必要はない。転居通知のひとつことを真に受けて、「近くに用事があったから」と突然新居を訪問しようものなら、相手は驚きと戸惑いを隠さないだろう。また、喫煙の害をうたう注意書きは、お得意さんである愛煙家に本気でタバコを控えさせようとしているとは思えない。

これらのメッセージの送り手は、受け手がメッセージどおりに動くことを期待していない。Zという、本来あるべきコミュニケーションの姿がここには見られない。送り手にあるのは何らかの意味を有する内容を伝達するという意思ではなく、義務を果たす、ないしはマニュアルどおりにこなす、というほどの意識だけである。受け手はそのことを察知する。内容は問題ではないということに敏感に感じ取る。だから無視するのだ。

挨拶されたら挨拶を返すのは常識だ。だがだれに向かつてどのように挨拶するか、またはしないかという決まりは社会や文化によって異なる。日本語コミュニケーションの常識では、「おはよう」と言われたら「おはよう」と返事をし、「ただいま」には「お帰りなさい」と応じ、「ありがとうございました」に対しては、「いいえ、どういたしまして」と返すことになっている。

日本国内であれ外国であれ、すれ違う人すべてと挨拶を交わすのが常識だという地域がある。また、赤の他人同士であっても、バスやエレベーターなどに乗り合わせたら、挨拶を交わすなり微笑み合うなりすることが常識の地域もある。それに対して、顔見知り以外

とは会釈もしない習慣を持つ地域がある。

フランスを例にとると、サービス業者と客の場合、何も買うつもりがなくてふらりと入った店で——高級ブランド店では、それ自体非常識な行為だが——、また、スーパーマーケットのレジで、客は最低限三つの言葉を発しなければならぬ。「こんにちは」と「ありがとう」と「さようなら」に当たるフランス語だ。もちろん店員側も、最低限この三つの言葉を、客の目をまっすぐ見つめて笑顔で言う。無言、無表情で入ってきて同様に立ち去る客は、店員にその場で罵倒こそされないが、間違いなく軽蔑される。

- | |
|---|
| <p>a 予期せぬ反応に、店員はぎよつとして後退りするか、自分が先に言ったにもかかわらず、あわてて再度「こんにちは」と言い直すに違いない。</p> <p>b ひるがえって日本では、「やまびこ挨拶」をはじめとする接客業の「いらっしやいませ、こんにちは」に、客は「こんにちは」と応えない。</p> <p>c これは来日したての留学生がしばしば経験することだ。</p> <p>d 試しに、客が満面に笑みをたたえて元気に「こんにちは」と返事をするとうどうなるか。</p> |
|---|

「こんにちは」と言われて黙っていることは常識に反するという文化を持つ者にとって、客が「こんにちは」も「どうも」も言わず、軽い会釈すらしない日本式の「マナー」は不可解であり、無気味である。

(b) 日本でも、知り合いから「こんにちは」と挨拶されて、もし同じ言葉を返さなかったら、「どうも」も「おうっ」も言わなかったら、手も挙げず、微笑みもうなずきもなかったら、つまり相手からの挨拶を完全に無視したら、その態度は悪意の意思表示と見なされる。出ていこうとする背中に「さようなら」なり「ありがとう」なり「ありがと」なり「また来てね」なりが聞こえてきたら、すでに挨拶済みであつてももう一度振り返って手を振ったりお辞儀をしたりする。背中の声を無視して立ち去ることが許されるのは、投げつけられたもののしりの言葉であつたときだけである。双方にとって、それは宣戦⁽⁹⁾フコクのようなものだ。そのような一種異常なコミュニケーションが、店員と客との間で日常的に交わされている。

相手からのリアクションを求めない、むしろリアクションを禁じていると言ってもよいコミュニケーションにおいて送り手が放つて

いるのは、それが意図的な悪意の伝達でないならば、「私は礼儀知らずの人間ではない」「私は決められたことを守っている」「ほかでもしていることをうちでもやっている」というメッセージである。

(出典 野口恵子『かなり気がかりな日本語』より)

問一 傍線部(ア)～(ウ)の漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選べ。解答番号は(ア)

(ア) 17、(ウ) 18

(ア) イツカン

- ① 税金のカンプを受ける。
- ② 火山活動と地震にはカンレン性がある。
- ③ 古いカンシユウに縛られる。
- ④ カンキョウ問題について学習する。
- ⑤ 壊れた部品をコウカンする。

(ウ) シギ

- ① レイギ正しい人だ。
- ② 東京で国際的なカイギが開かれた。
- ③ 彼は実験の結果にはカイギ的だった。
- ④ 高齢者を狙ったサギ事件が多発している。
- ⑤ 彼はギリ人情にあつい人だ。

ウ) フコク

- ① 彼女からシンコクな相談を受けた。
- ② 市長選挙がコクジされた。
- ③ タコクと友好関係を築く。
- ④ 自分自身の弱点をコクフクした。
- ⑤ カコクな条件で労働させられた。

問二 本文中の (a)、(b) に入る語として最も適当なものを、次の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選べ。ただし、同じものを二度以上用いてはならない。解答番号は (a) 19、(b) 20

- ① ところが
- ② なぜなら
- ③ むしろ
- ④ したがって
- ⑤ むろん

問三 空欄

X

に入るものとして最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は

21

- ① 意識したことがない
- ② 「好評」を意味する
- ③ 「不快」を意味する
- ④ 実際には「気にならない」
- ⑤ 実際には無視をする

問四 空欄 Y に入るものとして最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。 解答番号は 22

- ① 逆説的には店のためになる
- ② 店の従業員のために考案された
- ③ 客への礼儀を果たしているという義務
- ④ マニュアルを実施するために行っている
- ⑤ 元気をアピールするためのもの

問五 空欄 Z に入るものとして最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。 解答番号は 23

- ① 挨拶をされたら挨拶を返す
- ② メッセージを送った側がメッセージを送ったことを知らしめる
- ③ 送り手と受け手との間に意味が発生する
- ④ メッセージを受け取った側が何らかの行動を起こす
- ⑤ 相手の気持ちを考え、相手の立場に立って行動する

問六 傍線部A「むしろ逆効果ということだ」とあるが、この具体的な説明として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

解答番号は 24

- ① 顧客満足度を高めることができるどころか、全ての利用客が嫌みだと感じることになる。
- ② 元気がよすぎる挨拶は、かえって静かに買いたい顧客の邪魔をして購買につながらなくなる。
- ③ 顧客に「やまびこ挨拶」が受け入れられなくなってしまう原因となる。
- ④ 外国人の日本語学習者に胸を張って「やまびこ挨拶」を教えることができなくなる。
- ⑤ 潜在的顧客や常連客に対し、戸惑いを感じさせたり、不愉快な気分させることになる。

問七 傍線部B「店員の発する「いらっしやいませ、こんにちは」を客は無視し、返事をしない」とあるが、その理由として最も適

当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は 25

- ① 「こんにちは」も「どうも」も言わず、軽い会釈すらしないのが日本式のマナーになってしまっているから。
- ② コンビニエンスストアや大型新古書店では、顔見知り以外とは挨拶しないのが習慣となってしまうから。
- ③ 店員には何らかの意味を有する内容を伝達するという意思がないことを、客が敏感に感じ取るから。
- ④ 店員の「やまびこ挨拶」に対して「こんにちは」と挨拶することは、店員を驚かすことになるから。
- ⑤ 日本語のコミュニケーションの常識が、「変な日本語」によって崩れてきているから。

問八 傍線部C「そのような」が具体的に指しているものとして、最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は

26

- ① 悪意の意思表示がなされ、ののしり言葉が投げつけられたときに、背中を無視して立ち去ること。
- ② 「こんにちは」と言われても完全に無視したり、背中に「ありがとう」が聞こえてきても、無視して立ち去ること。
- ③ 店員が単に義務を果たすだけ、マニュアルどおりにこなすだけの挨拶を客にしていること。
- ④ 店員と客との間で日常的に交わされている、日本式の「マナー」。
- ⑤ 無言、無表情で入ってきて、無言、無表情で立ち去ること。

問九 本文 の中のa～dの文を意味の通るように並べたものとして、最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

解答番号は

27

- ① a—d—b—c
- ② b—d—a—c
- ③ b—c—a—d
- ④ c—a—b—d
- ⑤ d—c—b—a

問十 本文の内容と合致するものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は

28

- ① 金融機関で「やまびこ挨拶」を元気よくすることは、威勢がよすぎて何を言っているのかがよくわからないため、企業がサービスと考へて行っていることのうち、典型的に不必要なことをしている例である。
- ② 大学生自身が考へる「変な日本語」の中に「やまびこ挨拶」も挙げられたが、これらを外国人の日本語学習者に教へることがないため、来日したての留学生が店員に返事をしてしまう。
- ③ 「やまびこ挨拶」にも、店員たちが全員で大声で挨拶をすることで、緊張感の持続と連帯感の確認が図られ、仕事のモチベーションを高めることができるという効果が見いだせる。
- ④ 日本であれ、外国であれ、すれ違う人すべてと挨拶を交わすのは常識であり、赤の他人同士であっても、バスやエレベーターに乗り合わせたら挨拶を交わすことが求められる。
- ⑤ 「やまびこ挨拶は」相手からのリアクションを求めない、むしろリアクションを禁じているといってもよいコミュニケーションである。それは日本人の国民性に由来しているものである。

国語B【解答】

受験校		受験番号		フリガナ	
				氏名	

/100

第1問

	問1				
	1	2	3	4	5
	④	③	②	④	①

	問2			問3	
	6	7	8	9	10
	④	②	①	⑤	①

	問4	問5	問6	問7	問8
	11	12	13	14	15
	⑤	①	⑤	②	④

第2問

	問1			問2	
	16	17	18	19	20
	④	⑤	②	①	⑤

	問3	問4	問5
	21	22	23
	③	②	④

	問6	問7	問8
	24	25	26
	⑤	③	②

	問9	問10
	27	28
	②	③